

令和3年度行政評価 施策評価シート (令和2年度実績)

施策名 環境保全の推進

施策コード 5050202

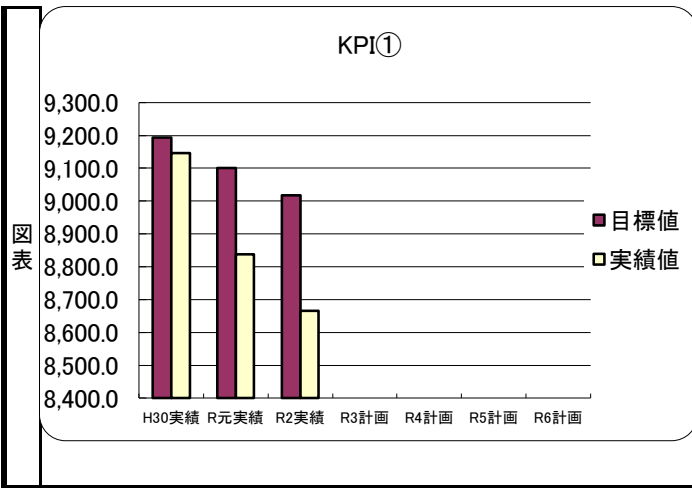
1. 施策の担当	
主管課	生活産業部 環境衛生課
関係課	

2. 総合計画における位置づけ			
総合計画	政策	第5章 安全でひとと環境にやさしいまちづくり (安全・防災・環境)	節 第2節 環境衛生・環境保全
	施策	環境保全の推進	
基本方針			
・生活環境の保全をはじめ、環境美化活動を推進します。			
現況と課題			
<ul style="list-style-type: none"> ・公害の未然防止や現状把握のため、事業所へのパトロールの強化と啓発、指導が必要です。 ・地球温暖化への負荷を低減させるため、温室効果ガスの排出削減が求められています。 ・ごみの路上投棄や不法投棄がなくなり、環境が悪化し、美観上も問題が生じており、不法投棄等をさせない環境づくりを進めることが必要です。 			
施策目標			
対象 (誰を、何を、どこを)			
市民			
意図 (どのような状態にしたいのか)			
公害の発生源に対する規制や環境への負荷の低減のために必要な対応をとることにより、健康で安全な生活を営むことのできる良好な環境を保全します。			

3. 市民ニーズ							
	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6
満足度 (偏差値)	46.6						
重要度 (偏差値)	44.4						

4. 施策にかかるコスト								
	単位	R元決算	R2決算					
コストの内訳	人件費	千円	138,996	150,405				
	事業費		31,097	27,881				
	フルコスト		170,093	178,286				
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0				
	府支出金		2,506	3,575				
	市債		0	0				
	その他		11,814	12,487				
	一般財源1 (=フルコスト-特定財源)		155,773	162,224				
一般財源2 (=直接事業費-特定財源)	16,777	11,819						

5. 施策の重要業績成果指標 (KPI)							
① KPI 1 温室効果ガス (CO2) の年間総排出量							
項目	H30実績	R元実績	R2実績	R3計画	R4計画	R5計画	R6計画
目標値	9,194.0	9,101.0	9,017.0				
実績値	9,147.0	8,838.0	8,666.0				
達成度	100.51	102.97	104.05				
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠			目標達成・未達成の理由・背景		
地球温暖化への負荷を低減させるため、温室効果ガスの排出削減が求められています。市の事務及び事業に関する温室効果ガス総排出量を把握することで、排出抑制が進んでいるかがわかります。		大阪府温暖化の防止等に関する条例に基づく実績報告書の目標値から設定。 2018年度から2020年度までの3年計画			目標値は達成できたが、達成の主な要因が、新型コロナウイルスの影響で施設の閉鎖等によるエネルギー使用量の減少であるため、来年度以降、新たに設定する目標値を達成できるか不透明な部分がある。		



6. 施策の事後評価			
	判定項目	評価点	評価理由、今後の方向性等
一次評価 (担当課による評価)	施策の成果レベル (過去の推移、周辺市との比較なども含む)	(4点中) 4	温室効果ガス総排出量については、「りんくうタウン駅ビル」が加わり、大きく増加したが、省エネ意識、節電意識は定着していると思われる。
	施策に対する市民ニーズ	(3点中) 2	市民アンケートの施策に対する満足度は、51.2 (H19)、51.5 (H24)、46.6 (H30) に推移。生活環境やポイ捨てや路上喫煙については、市民に対して身近な問題である。
	施策を取り巻く状況 (法令等の動向、国・府の政策の動向、社会潮流など)	(3点中) 3	2018年に公表された気候変動に関する政府間パネル(IPCC)報告書では、産業革命前からの平均気温上昇の幅を1.5℃に抑えるためには、2050年までにCO2排出量を実質ゼロとすることが必要だと科学的に示されています。本市においても、2015年5月に策定した地球温暖化対策計画にて、2030年度までに温室効果ガスを2013年度比で26%削減するとしております。
	合計点	(10点中) 9点	
	総合評価	A	地球温暖化を感じさせる異常気象が続き、来庁者も含め熱中症等の危険もあり、空調の使用を抑制するのは限界がある。悪質な不法投棄には、警察と連携し、対処している。犬フンの放置には、啓発広報活動を行うとともに巡視員による取り締まりも強化し、減少に努めている。
二次評価 (政策推進課・行財政管理課による評価)		A	引き続き目標値の達成に努めること。
三次評価 (理事者による評価)		A	引き続き目標値の達成に努めること。

7. 施策を構成する事務事業							
事務事業			R2年度決算額			R3年度予算	一次評価
予算コード	事務事業名	人件費	事業費	一般財源			
1	01009400	自転車等駐車場運営事業					B
2	01009500	放置自転車対策事業					B
3	01029300	公害対策事業	37,791	7,767	-50	0	B
4	01038190	クリーン推進事業	112,614	20,114	11,869	0	B
合計			150,405	27,881	11,819	0	